

| | | | | | | | |
|--------------------|--|--|----|-----|-----|------|----|
| 科目名 Course Name | 起業家教育 I Entrepreneur Education I | | | | | | |
| 年次 | 2年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 1単位 | 授業形態 | 演習 |
| 担当者氏名 | 長江 庸泰 | | | | | | |
| 連絡先(質問等) | メールにて対応、オフィスアワー:本館2F(研究室 1)月～木曜 9:00～16:00(授業・会議時間を除く) | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択 | | | | | | |
| 関連 DP | DP2,DP3,DP5 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>本授業は、起業(会社づくり)のプロセスと起業家精神といわれる「チャレンジ精神」や「創造性」等を養うことを目的に、商品企画開発の基礎的な考え方と基礎的な手法を学習する。特に、企業や組織が最大利益や成果を獲得するために、従業員を合理的に活用し、従業員のやる気を高めるために必要な仕組みや制度・支援を考える「人的資源管理」を重点的に学習する。</p> <p>①起業に必要な基本的な手続きを説明できるようにする。 ②組織における自分の役割を自覚して、そのための具体的な行動がとれるようにする。 ③人的資源管理に基づく論理的な思考と批判的な思考を行えるようにする。 ④チーム活動を通じて、コミュニケーションを円滑に行い、チーム目標を達成できるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、起業に精通した人材育成を目指すものである。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | | | | | | |
| | L03 | ①起業に必要な基本的な手続きを説明できる。 ②組織における自分の役割を自覚して、そのための具体的な行動がとれるようになる。 ③起業家精神にもとづいて自主的に問題解決のための行動がとれるようになる。 ④国際的視野に立ち、必要な情報を収集・分析して自らの考えを説明できるようになる。 | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は、メール等で個別にフィードバックする。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 八代充史著『人的資源管理論』、中央経済社(978-4-502-08850-6)及び長江庸泰作成の“デジタルテキスト「起業家教育 I 2020 年度版」”を活用する。 | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | 事前・事後学習各回 45 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | ●実務経験(職種:会社役員 職歴:40 年)、実務経験を起業の実践面と学習・説明等で活用する。 | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|---|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 以下の3点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準: 上記参加態度を全て満たすもの。 | | | 10 | |
| レポート/作品 | Sのレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月1回計3回提出予定(締切は各月末)。 | | | 30 | |
| 発表 | Sのレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。 | | | 20 | |
| 小テスト | 成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59 | | | 20 | |

| | | | | | |
|-----------|--|--|--|-----|--|
| 試験 | 成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59 | | | 20 | |
| その他 | 上記評価基準に基づき成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59 | | | | |
| 合計 | | | | 100 | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|---|
| 1 | 授業内容 | 授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。 |
| | 事前・事後学習 | 事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。 |
| 2 | 授業内容 | 自分のキャリアデザインを考えてみる②/(グループワークによるプレゼンとディスカッション①)。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 3 | 授業内容 | 社会的初期キャリアとしての就職活動①「採用条件」。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 4 | 授業内容 | 「人的資源管理」としての就職活動②企業から見た「採用」。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 5 | 授業内容 | 「人的資源管理」としての企業から見た「採用活動」のメカニズムと論理。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 6 | 授業内容 | 企業から見た「賃金制度」①キャリアデザインと生計計画。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 7 | 授業内容 | 企業から見た「賃金制度」②人的資源管理と労働市場、賃金・労働時間。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 8 | 授業内容 | 企業内キャリアを考える①企業内キャリアの分類と特徴。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 9 | 授業内容 | 企業内キャリアを考える②企業内キャリアのデザイン。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 10 | 授業内容 | 企業の設立(グループ別け、役職決定)、企業設立の法的手続き、商品企画の進め方。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 11 | 授業内容 | 商品開発のための市場調査①(アンケート調査項目の検討)、仮説発掘法1:導入、フォト日記法。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 12 | 授業内容 | 商品開発のための市場調査②(アンケート調査の実施) アンケート/(グループワークによるプレゼンとディスカッション②)。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 13 | 授業内容 | ビジネスプランの作成①(ビジネスプランの概要と商品の決定)、アイデア発想法1:導入、焦点発想法。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 14 | 授業内容 | ビジネスプランの作成②(商品決定)、アイデア発想法2:アナロジー発想法。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |
| 15 | 授業内容 | ビジネスプランの作成③(商品価格の決定、予想売上高・費用・利益の決定)、アイデア発想法3:ブレインライティング。 |
| | 事前・事後学習 | 上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。 |

